

本特許は、本技報内で紹介した新型BEVに搭載のe-Axleに関するものである。

2. 回転電機

(Fig. 2)

出願番号 : 特願2023-536275

出願日 : 2021.7.20

特許番号 : 特許第7580609号

登録日 : 2024.10.31

発明の名称: 回転電機

発明者 : 望月 洋治郎, 鈴木 悠介, 江口 和希,
内田 達也, 趙 イウエイ, 本田 史雄

これにより、インナーハウジングとアウターハウジングとを組み立てる際に、インナーハウジングの先端部を圧入する前にインナーハウジングの芯出しをすることができるので、インナーハウジングがアウターハウジングに対して傾くことなく、インナーハウジングの先端部をアウターハウジングに圧入することができる。

【発明の概要】

円筒状のアウターハウジングの内部に円筒状のインナーハウジングを設け、これらの中に冷却液流路を形成した回転電機について、インナーハウジングをアウターハウジング内に組み付ける際に、インナーハウジングの先端部をアウターハウジングに圧入するとともに、インナーハウジングに設けられたフランジをアウターハウジングに固定している。このインナーハウジングの圧入時に先端部の芯出しが不十分であると、インナーハウジングが傾いた状態でアウターハウジングに圧入されてしまい、シール部分から冷却液が漏れてしまうという問題があった。

本発明の回転電機では、インナーハウジング3の外周に配置した二つのシール部材6a, 6bと、段付き径を有するアウターハウジング4の内周面によって冷却液通路5を形成し、インナーハウジング挿入時にはアウターハウジング内周面にシールが当接したときインナーハウジングの先端部が最奥のアウターハウジングの第3円筒面43に当たらず隙間Cを保持するようにした。

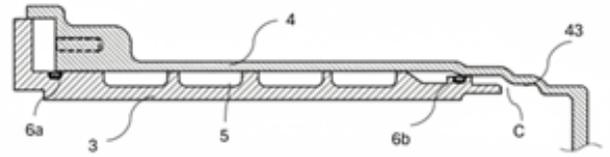


Fig. 2